

阿蘇山、噴火警戒レベル 892 日ぶりレベル 1 に引き下げ 火口への立ち入り規制は継続

気象庁は2月7日、火山活動が低下し、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められないとして、噴火警戒レベルを火口周辺規制のレベル2から1（活火山であることに留意）に引き下げました。

この発表を受け、阿蘇市や高森町、南阿蘇村など関係団体で構成する阿蘇火山防災会議協議会は、翌8日に現地確認し、火山ガス監視体制など火口見学者の安全が確保できるまでの間、火口周辺おむね1キロの立ち入り規制継続を決めました。



- ①ロープウェー駅舎付近に落ちた噴石。駅舎内の損傷も激しく、外壁や屋根にも被害が及んでいた。
- ②火口周辺は50%以上火山灰が堆積した場所も。
- ③火口につながる遊歩道の橋も損傷。

火口周辺には、火山灰が大量に堆積、火口に通じる阿蘇山公園道路（有料道路）なども損傷があり、市では、早期の火山灰除去と補修などを進めるとともに、関係機関と連携しガス検知器の設置など、火口見学再開に向けて取り組むこととしています。

現在は、火口から1キロの場所にある阿蘇山上広場までが通行可能となっています。

火口見学再開が、災害からの復興の追い風となることを期待されます。

●阿蘇中岳これまでの経緯

H26. 8.30	噴火警戒レベル(以下「レベル」)を1から2に引き上げ
H26. 9.14	小規模噴火。レベルを2から3(入山規制)に引き上げ
H26.11.24	レベルを3から2に引き下げ。
H28.10. 8	36年ぶりに爆発的噴火。レベルを2から3に引き上げ
H28.12.20	レベルを3から2に引き下げ
H29. 2. 7	レベルを2から1に引き下げ

わだい



勢いよく炎を上げ燃える原野

春を告げる野焼き始まる

草千里ヶ浜で炎あがる

草千里ヶ浜で2月8日、野焼きが行われ、牧野組合や野焼きボランティアなど約100人が作業に当たりました。

同場所の野焼きは、県の支援により昨年、約半世紀ぶりに復活され、今年も2回の延期を経て実施。当日は環境省が行う『国立公園満喫プロジェクト』のスタートイベントも兼ねて行われ、多くの観光客が訪れました。

作業員は東西に分かれ、バーナーで火を付けると、瞬く間に炎を上げ、約1時間ほどで30畝の原野を焼きました。



表彰

(写真提供:阿南市)

表彰状を受け取る森さん(中央)

阿南市・北條民雄文学賞で快挙

森水菜さんが最上位の大賞

徳島県阿南市合併10周年記念事業として創設された北條民雄文学賞で、森水菜さん(内牧2区)の作品が最高位の大賞を受賞しました。

同文学賞は、同市出身の作家北條民雄の生誕100周年と同市の10周年を記念して創設されたもので、全国から65点が応募。森さんの作品「北條民雄様へ」は、ハンセン病についての思いをつづったノンフィクション作品で、自身初めての作品です。

森さんは「阿蘇で文学を盛り上げられるようにこれからも頑張ります」と喜びを語りました。

保育事業の進展に功績

鳴川直子氏に厚労大臣感謝状

永年にわたり保育士として従事し、保育事業の進展に功績があったとして、りんどう保育園に勤務する鳴川直子氏(馬場)に、厚生労働大臣感謝状が贈られ12月27日、同園で感謝状の伝達式が行われました。

この感謝状贈呈は、全国保育研究大会に合わせ5年に一度行われているもので、今回、県内から6人が受賞しました。鳴川氏は昭和51年に勤務以来、永きにわたり保育士として従事。「家族や保育園の皆さんなどの支えのおかげ。子どもの素直さや優しさを大切にしていきたい」と受賞の喜びを語りました。



表彰

感謝状の伝達を受ける鳴川氏(左)

全国大会出場者紹介・大会結果

●ソフトボール (3.18～21 / 兵庫県)

第35回全国高等学校女子ソフトボール選抜大会

山本 南(熊本商業高校2年 / 一の宮中出身)

小園 葵(熊本商業高校1年 / 一の宮中出身)

荒木七海(熊本商業高校1年 / 阿蘇中出身)

●柔道 (3.19 / 東京都)

第39回全国高等学校柔道選手権大会(女子無差別級)

嶋田沙緒里(霧島市立国分中央高校1年 / 阿蘇中出身)

●テコンドー【結果】 (1.22 / 愛知県)

第10回全日本テコンドー選手権大会(女子-46kg級)

第3位 西村真利愛

(韓国チョソン大学1年生:阿蘇一の宮中学校出身)